

部落問題についての意識について

質問13 あなたは部落問題をどんなときに、気にしますか。最もあてはまるものを選んでください。(1つ)

- 1 結婚を考えるととき。
- 2 就労・雇用するとき。
- 3 土地や家などの財産を購入するとき。
- 4 職場や学校でつきあいをするとき。
- 5 隣近所でつきあいをするとき。

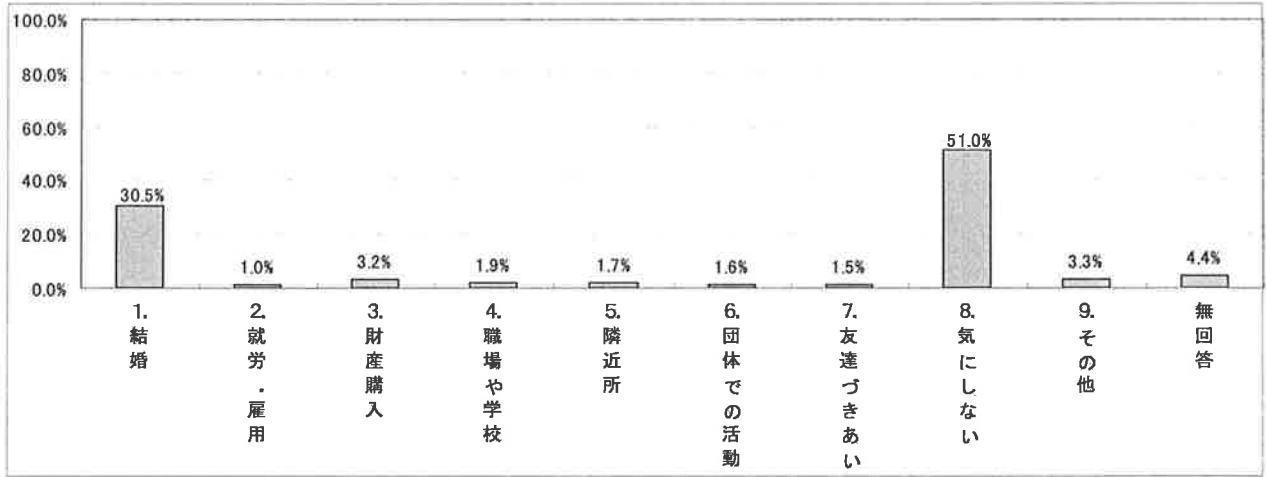
- 6 町内会、自治会、PTA、女性部などの団体に活動するとき。
- 7 友だちづきあいをするとき。
- 8 気にしない。
- 9 その他 ()

この質問は、町民個々の事情や行動における被差別部落や部落出身者との関わりや交際についての意識を問うている。

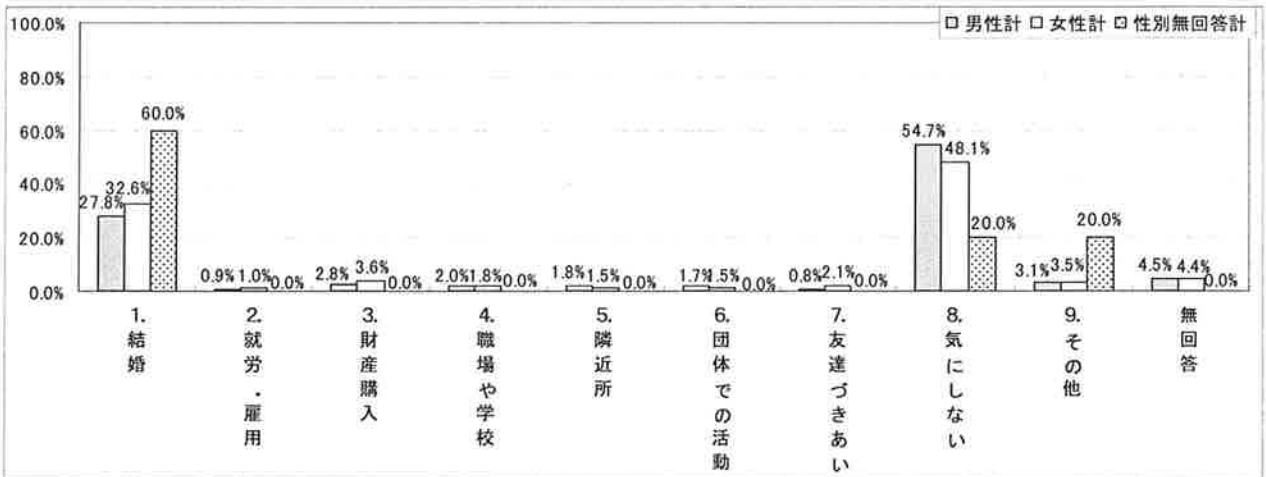
質問13		1.結婚		2.就労・雇用		3.財産購入		4.職場や学校		5.隣近所	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
20才代	男	14	15.7%	1	1.1%	2	2.2%	3	3.4%	1	1.1%
	女	17	15.9%	2	1.9%	4	3.7%	3	2.8%	0	0.0%
	計	31	15.8%	3	1.5%	6	3.1%	6	3.1%	1	0.5%
30才代	男	25	22.9%	0	0.0%	1	0.9%	4	3.7%	1	0.9%
	女	38	29.5%	1	0.8%	6	4.7%	1	0.8%	0	0.0%
	計	63	26.5%	1	0.4%	7	2.9%	5	2.1%	1	0.4%
40才代	男	36	32.1%	0	0.0%	1	0.9%	2	1.8%	2	1.8%
	女	48	33.3%	1	0.7%	3	2.1%	6	4.2%	2	1.4%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	計	84	32.7%	1	0.4%	4	1.6%	8	3.1%	4	1.6%
50才代	男	43	37.1%	3	2.6%	6	5.2%	3	2.6%	2	1.7%
	女	55	37.7%	1	0.7%	6	4.1%	3	2.1%	2	1.4%
	計	98	37.4%	4	1.5%	12	4.6%	6	2.3%	4	1.5%
60才代	男	32	26.4%	0	0.0%	5	4.1%	0	0.0%	3	2.5%
	女	51	35.4%	3	2.1%	7	4.9%	0	0.0%	6	4.2%
	計	83	31.3%	3	1.1%	12	4.5%	0	0.0%	9	3.4%
70才以上	男	31	29.8%	2	1.9%	3	2.9%	1	1.0%	3	2.9%
	女	45	40.9%	0	0.0%	2	1.8%	1	0.9%	2	1.8%
	計	76	35.5%	2	0.9%	5	2.3%	2	0.9%	5	2.3%
年代性別無回答		3	75.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	男性計	181	27.8%	6	0.9%	18	2.8%	13	2.0%	12	1.8%
	女性計	254	32.6%	8	1.0%	28	3.6%	14	1.8%	12	1.5%
	性別無回答計	3	60.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	合計	438	30.5%	14	1.0%	46	3.2%	27	1.9%	24	1.7%

6.団体での活動		7.友達づきあい		8.気にしない		9.その他		無回答		合計
人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
2	2.2%	0	0.0%	61	68.5%	2	2.2%	3	3.4%	89
0	0.0%	1	0.9%	74	69.2%	5	4.7%	1	0.9%	107
2	1.0%	1	0.5%	135	68.9%	7	3.6%	4	2.0%	196
1	0.9%	0	0.0%	69	63.3%	7	6.4%	1	0.9%	109
1	0.8%	1	0.8%	78	60.5%	2	1.6%	1	0.8%	129
2	0.8%	1	0.4%	147	61.8%	9	3.8%	2	0.8%	238
2	1.8%	4	3.6%	59	52.7%	4	3.6%	2	1.8%	112
2	1.4%	4	2.8%	67	46.5%	6	4.2%	5	3.5%	144
0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	1
4	1.6%	8	3.1%	126	49.0%	11	4.3%	7	2.7%	257
2	1.7%	1	0.9%	47	40.5%	2	1.7%	7	6.0%	116
2	1.4%	2	1.4%	61	41.8%	6	4.1%	8	5.5%	146
4	1.5%	3	1.1%	108	41.2%	8	3.1%	15	5.7%	262
3	2.5%	0	0.0%	71	58.7%	2	1.7%	5	4.1%	121
6	4.2%	6	4.2%	51	35.4%	5	3.5%	9	6.3%	144
9	3.4%	6	2.3%	122	46.0%	7	2.6%	14	5.3%	265
1	1.0%	0	0.0%	49	47.1%	3	2.9%	11	10.6%	104
1	0.9%	2	1.8%	44	40.0%	3	2.7%	10	9.1%	110
2	0.9%	2	0.9%	93	43.5%	6	2.8%	21	9.8%	214
0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	4
11	1.7%	5	0.8%	356	54.7%	20	3.1%	29	4.5%	651
12	1.5%	16	2.1%	375	48.1%	27	3.5%	34	4.4%	780
0	0.0%	0	0.0%	1	20.0%	1	20.0%	0	0.0%	5
23	1.6%	21	1.5%	732	51.0%	48	3.3%	63	4.4%	1,436

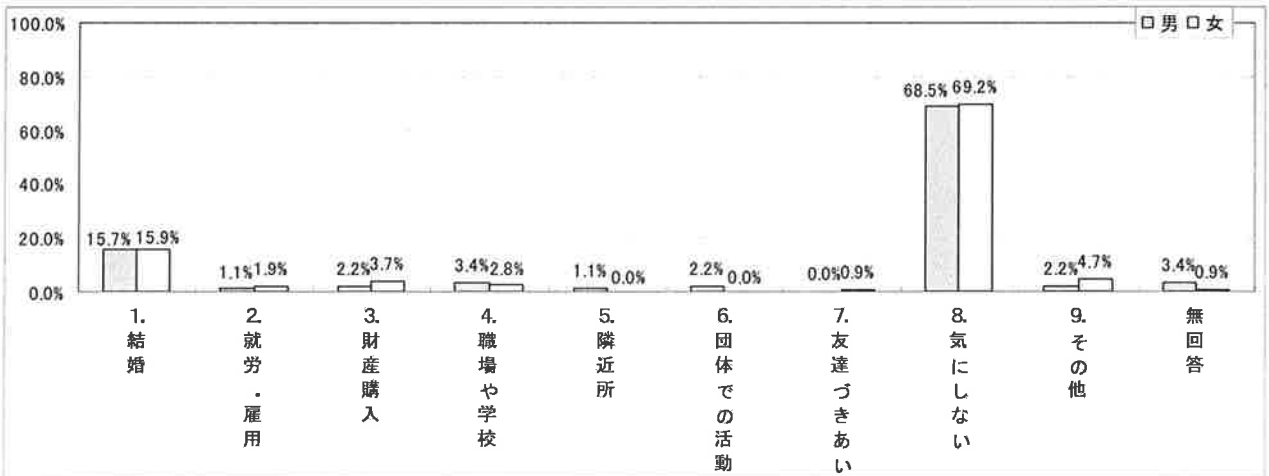
全体



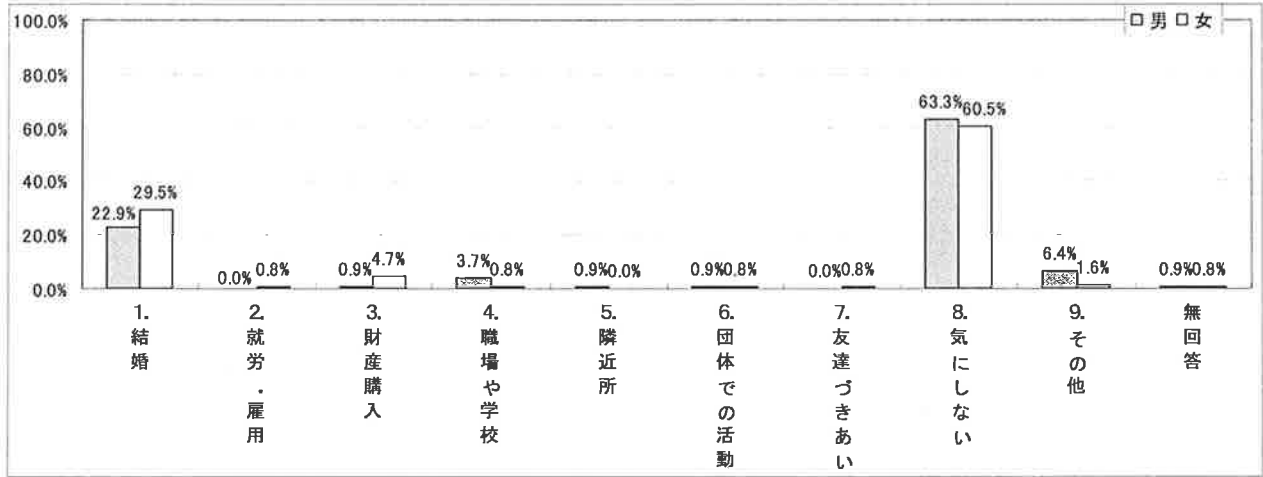
男女別全体



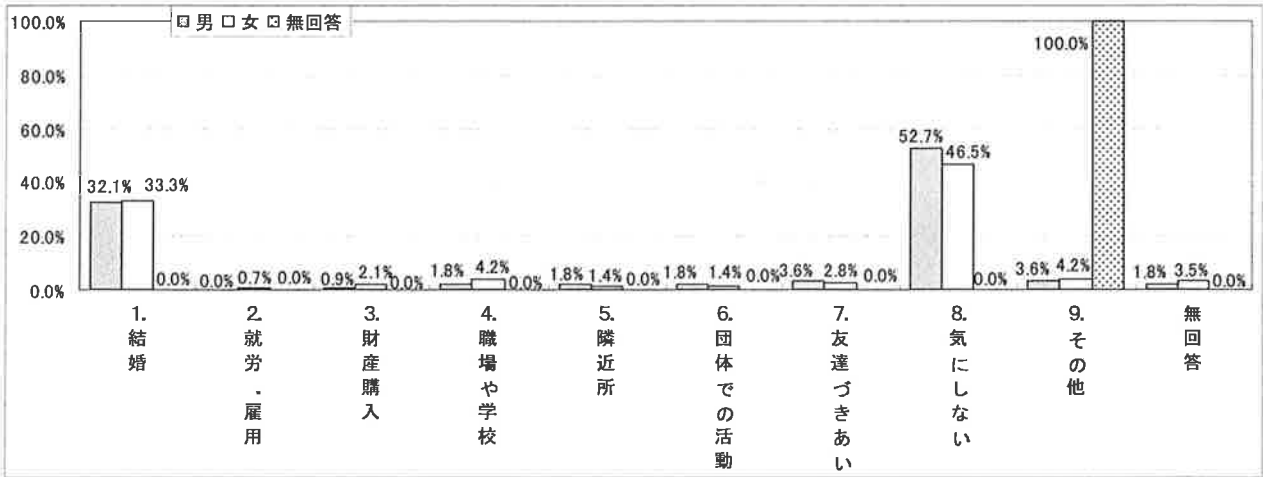
20才代



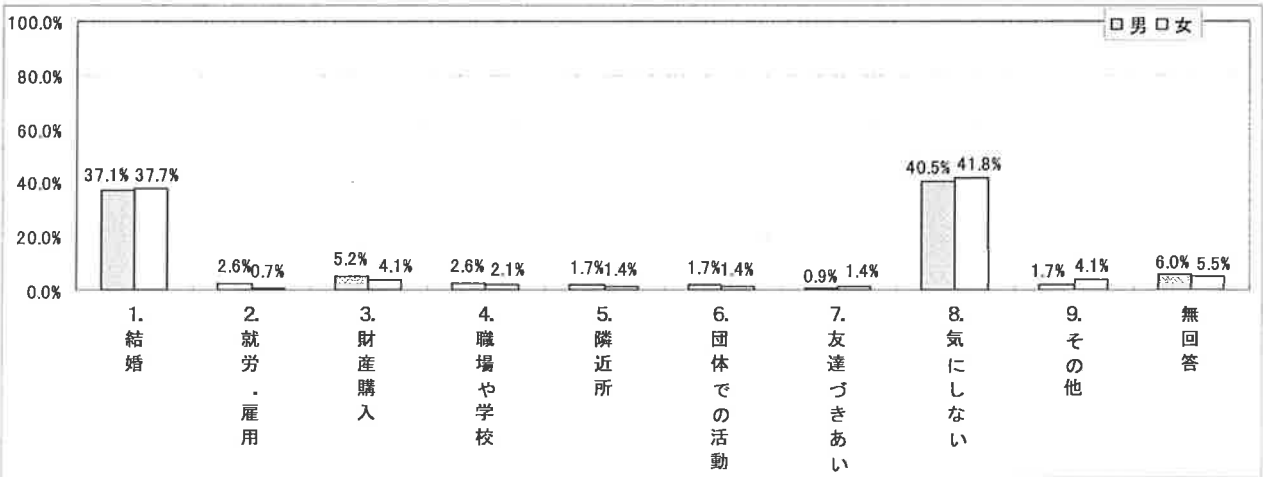
30才代



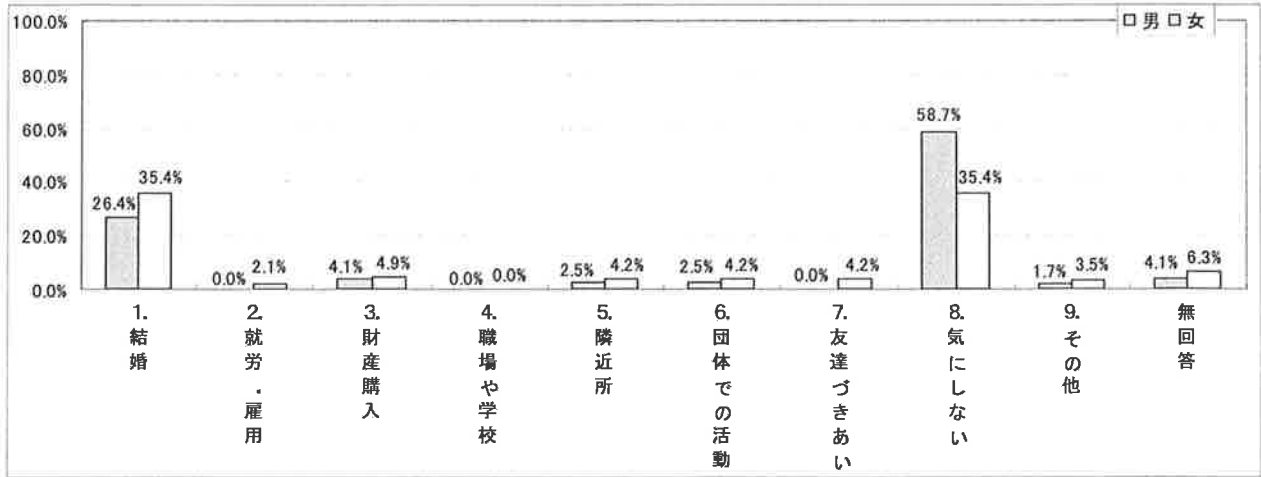
40才代



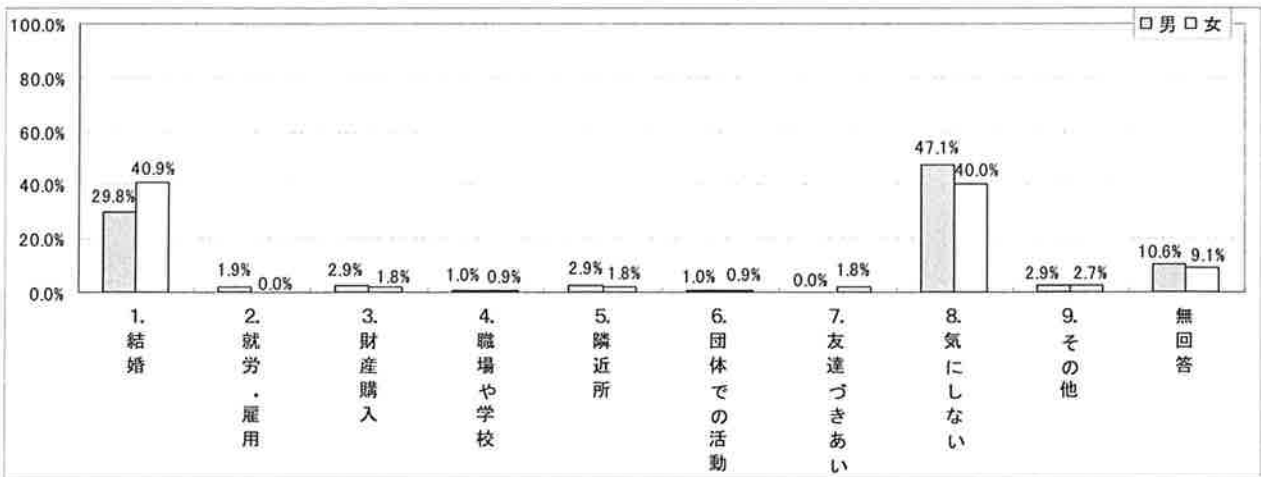
50才代



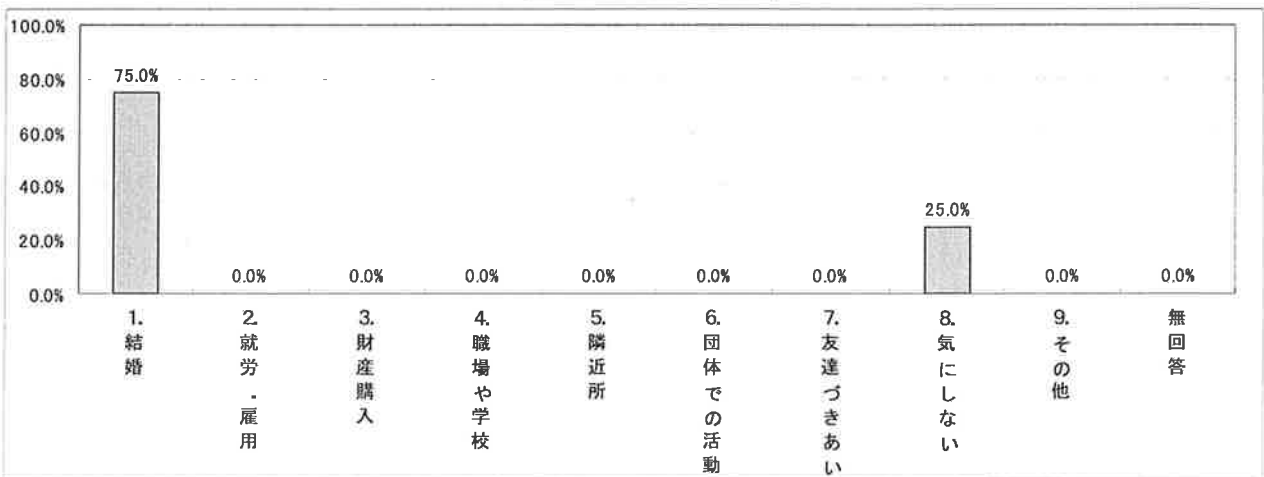
60才代



70才以上



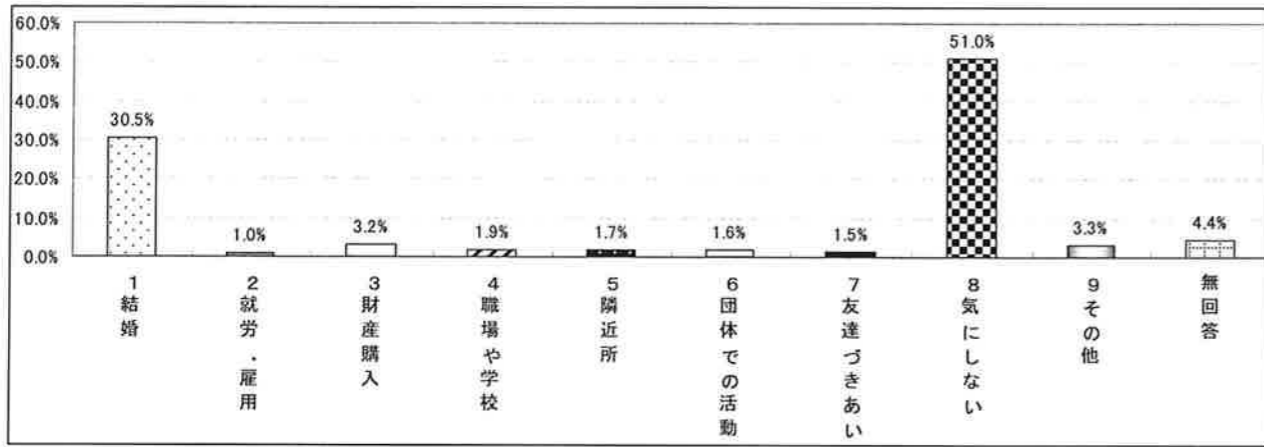
年代性別無回答



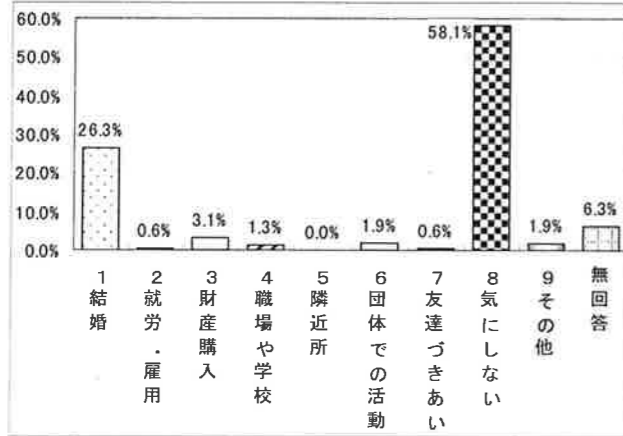
地区別

	1 結婚		2 就労・雇用		3 財産購入		4 職場や学校		5 隣近所	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
八橋	90	33.3%	1	0.4%	7	2.6%	3	1.1%	5	1.9%
浦安	85	29.5%	6	2.1%	17	5.9%	5	1.7%	5	1.7%
下郷	42	26.3%	1	0.6%	5	3.1%	2	1.3%	0	0.0%
上郷	20	48.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.4%
古布庄	26	35.6%	1	1.4%	1	1.4%	1	1.4%	2	2.7%
東伯中学校区計	263	31.6%	9	1.1%	30	3.6%	11	1.3%	13	1.6%
赤碕	70	23.5%	1	0.3%	11	3.7%	4	1.3%	7	2.3%
成美	55	40.4%	4	2.9%	1	0.7%	9	6.6%	1	0.7%
安田	34	33.3%	0	0.0%	1	1.0%	2	2.0%	1	1.0%
以西	13	21.3%	0	0.0%	3	4.9%	1	1.6%	2	3.3%
赤碕中学校区計	172	28.8%	5	0.8%	16	2.7%	16	2.7%	11	1.8%
地区無回答	3	42.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
全体	438	30.5%	14	1.0%	46	3.2%	27	1.9%	24	1.7%

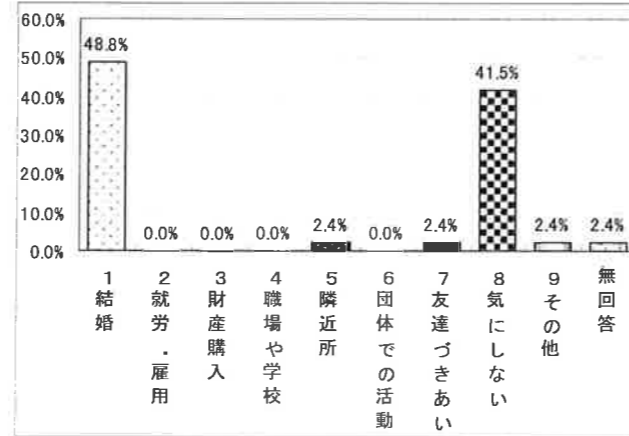
全体



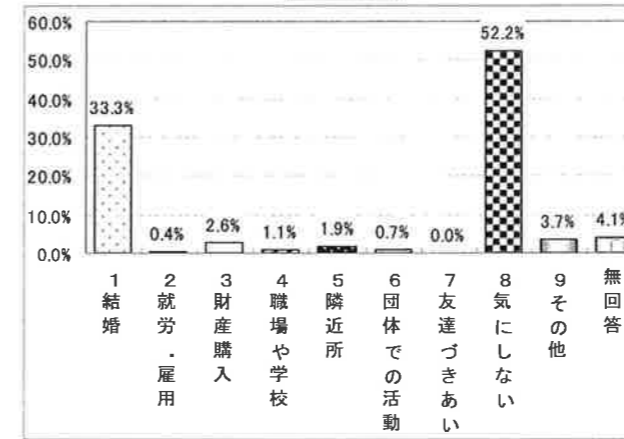
下郷



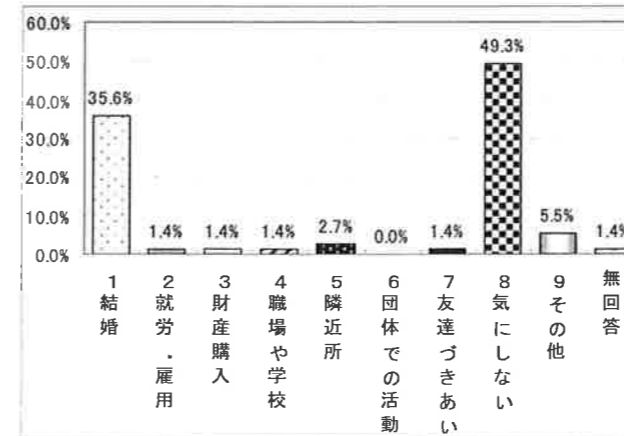
上郷



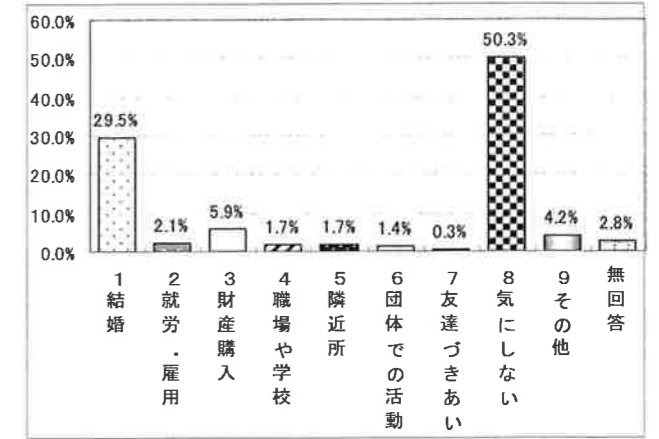
八橋



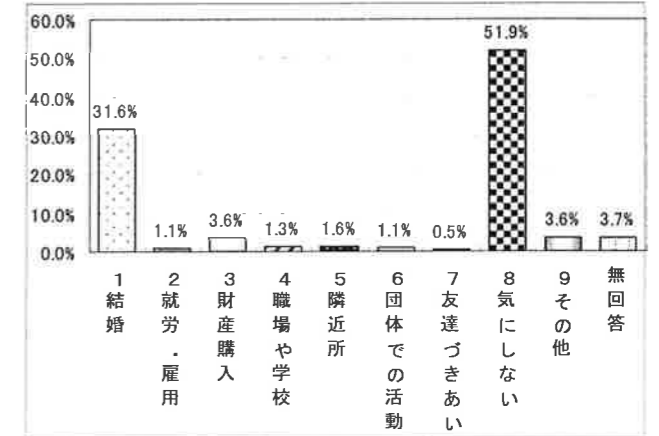
古布庄



浦安

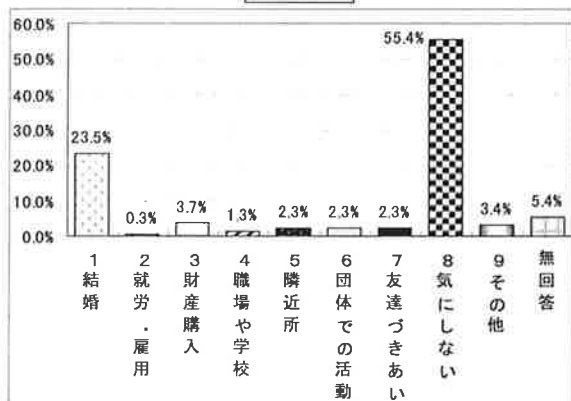


東伯中学校区計

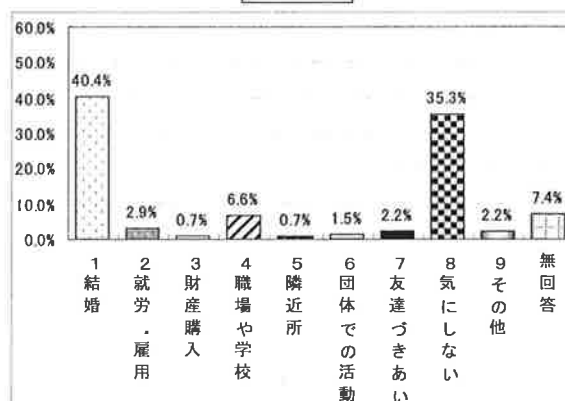


	6 団体での活動		7 友達づきあい		8 気にしない		9 その他		無回答		合計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
2	2	0.7%	0	0.0%	141	52.2%	10	3.7%	11	4.1%	270
4	4	1.4%	1	0.3%	145	50.3%	12	4.2%	8	2.8%	288
3	3	1.9%	1	0.6%	93	58.1%	3	1.9%	10	6.3%	160
0	0	0.0%	1	2.4%	17	41.5%	1	2.4%	1	2.4%	41
0	0	0.0%	1	1.4%	36	49.3%	4	5.5%	1	1.4%	73
9	9	1.1%	4	0.5%	432	51.9%	30	3.6%	31	3.7%	832
7	7	2.3%	7	2.3%	165	55.4%	10	3.4%	16	5.4%	298
2	2	1.5%	3	2.2%	48	35.3%	3	2.2%	10	7.4%	136
2	2	2.0%	3	2.9%	53	52.0%	3	2.9%	3	2.9%	102
2	2	3.3%	3	4.9%	32	52.5%	2	3.3%	3	4.9%	61
13	13	2.2%	16	2.7%	298	49.9%	18	3.0%	32	5.4%	597
1	1	14.3%	1	14.3%	2	28.6%	0	0.0%	0	0.0%	7
23	23	1.6%	21	1.5%	732	51.0%	48	3.3%	63	4.4%	1,436

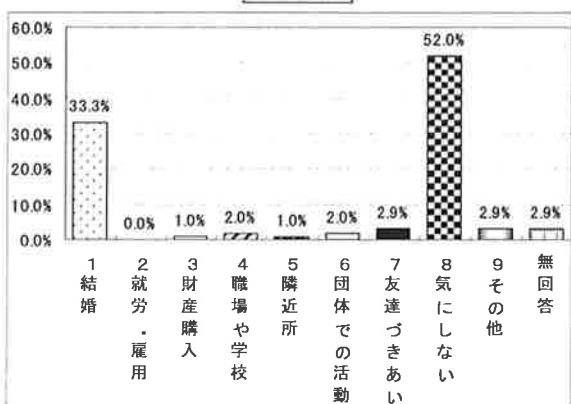
赤碕



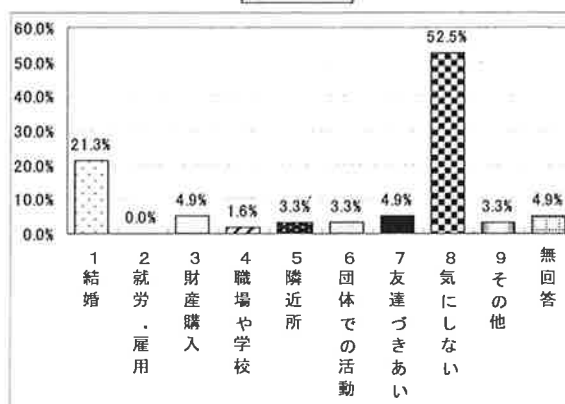
成美



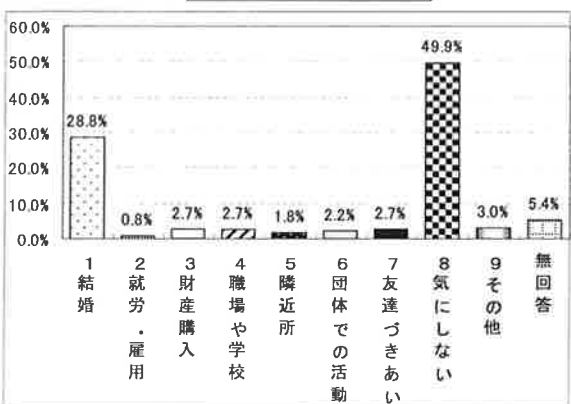
安田



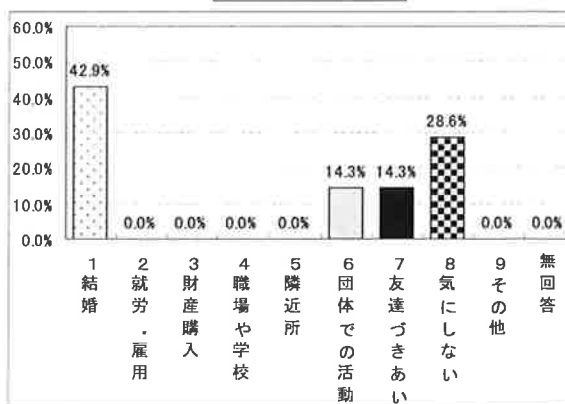
以西



赤碕中学校区計



地区無回答



<分析>

- 全体では、30.5%の人が「結婚を考えるととき」気にすると答え、51.0%の人は「気にしない」と答えている。
- 年代別でみると、「結婚を考えるととき」は50才代の37.4%が最も高い。そして、「気にしない」は20才代の68.9%、30才代の61.8%と若い世代で高い。
- 男女別では、「気にしない」と男性の54.7%が答え、女性より6.6ポイント高い。
- 年代男女別でみると、「結婚を考えるととき」では、60才代と70才以上で大きな差がみられる。60才代では「結婚をするとき」気にすると答えた女性が35.4%と男性より9.0ポイント高い。70才以上では、女性が40.9%と男性より11.1ポイント高い。また、「気にしない」では、60才代女性の35.4%は、同年代男性より23.3ポイント低く大きな差がみられる。
- 地区別でみると、「結婚を考えるととき」は成美地区の40.4%が最も高い。「気にしない」は下郷地区の58.1%が最も高く、成美地区の35.3%より22.8ポイント高い。

【質問13（部落問題をどんなときに気にするか）の回答1（結婚を考えると）、8（気にしない）と、質問12（部落差別の存在の認識）との関連】

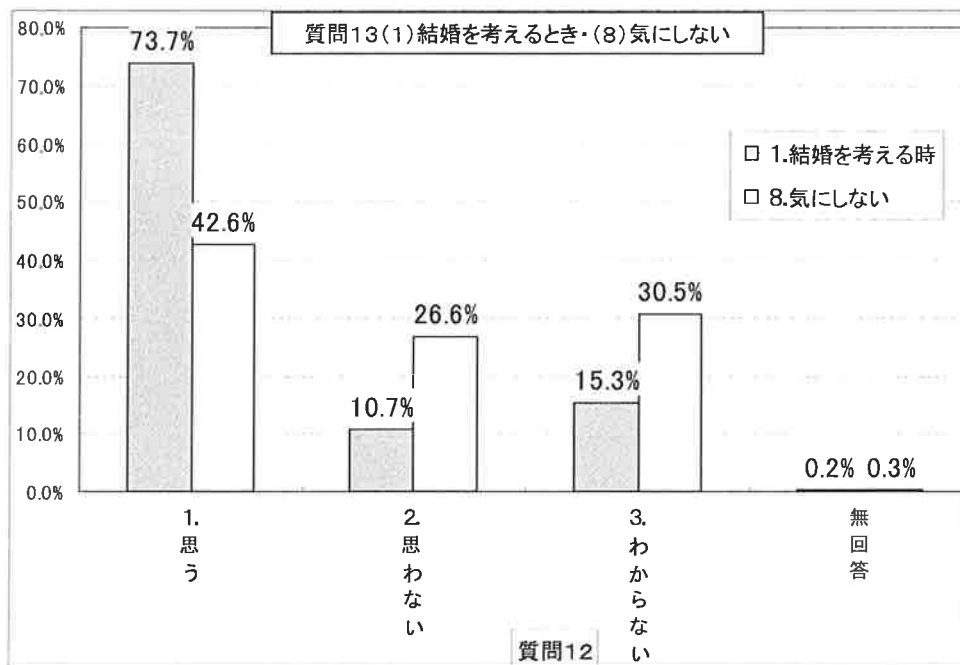
[質問12の内容]

部落差別が今でもあると思いますか。

1. 思う。 2. 思わない。 3. わからない。

このクロス集計では、部落問題を「気にしない」と答えた人の意識や態度と、部落差別の存在認識との関連を、部落問題を「結婚を考えると」に気にすると答えた人との比較でみた。

質問13 \ 質問12	1. 思う		2. 思わない		3. わからない		無回答		計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
1. 結婚を考えた時	323	73.7%	47	10.7%	67	15.3%	1	0.2%	438
8. 気にしない	312	42.6%	195	26.6%	223	30.5%	2	0.3%	732



<分析>

○ 部落差別が今でもあると「思う」と答えたのは、部落問題を「気にしない」という人では42.6%であり、「結婚を考えると」に気にすると答えた人の73.7%に比べ約31ポイント低い。

また、部落差別が今でもあると「思わない」と答えたのは、「気にしない」という人では26.6%で、「結婚を考えると」という人の10.7%に比べ約16ポイント高い。

部落差別が今でもあるか「わからない」とする回答は、「気にしない」という人では30.5%で、「結婚を考えると」という人の15.3%に比べ約15ポイント高い。

このことから、部落問題を「結婚を考えると」に気にすると答えた人のうち約74%の人は、部落差別の存在を認識している。しかし、部落問題を「気にしない」とする人のうち約6割近くの方は、部落差別の存在を認識しておらず、その意識や態度は部落差別の解消、人権確立にはつながらない人権課題であるといえる。

【質問13（部落問題をどんなときに気にするか）の回答1（結婚を考えると）、8（気にしない）と、質問17（同和対策事業の必要性）との関連】

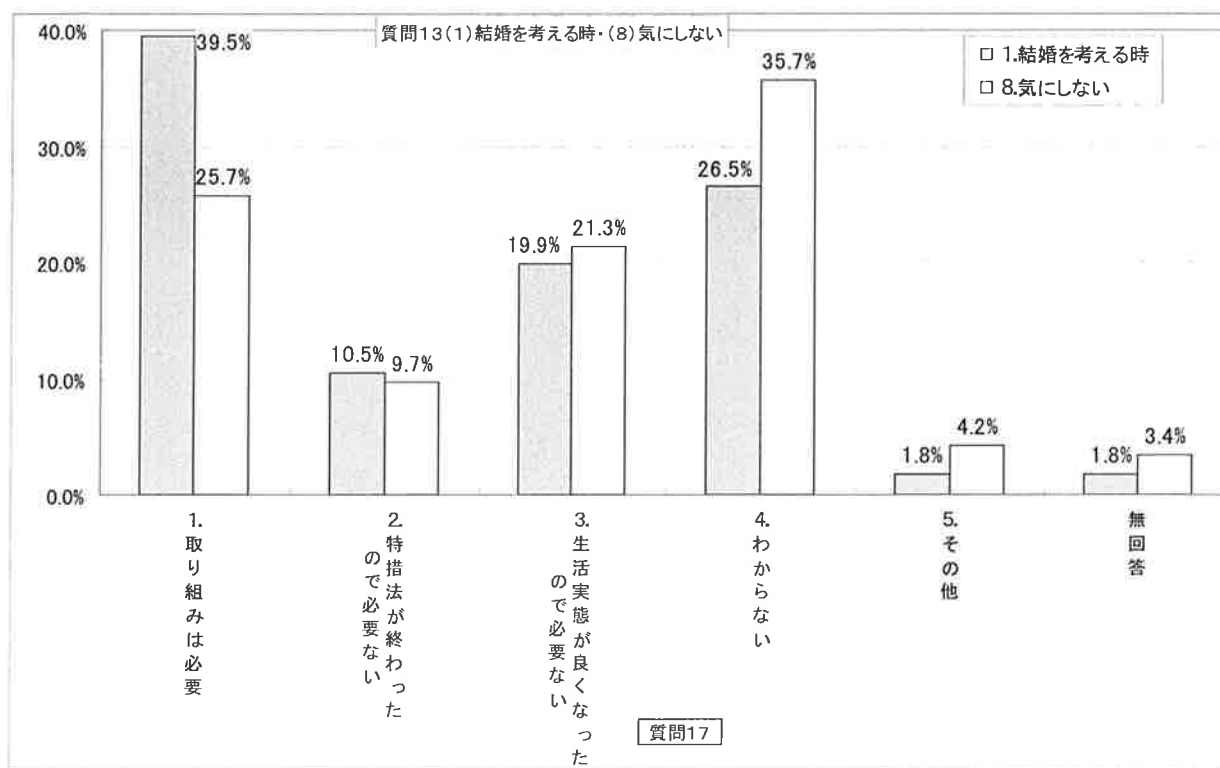
[質問17の内容]

被差別部落を中心に周辺地域を含めた生活環境の改善や生活の向上、差別をなくするための教育啓発活動を行っている国や県、町の同和対策事業についてどう思いますか。あなたの考えに近いものを選んでください。（1つ）

1. 一定の成果はあったが、差別はなくなっていないので、取り組みは必要だと思う。
2. 特別措置法が終わったのだから、同和対策事業は必要ない。
3. 被差別部落の環境や生活実態がよくなったので、続ける必要はない。
4. 事業が必要かどうかわからない。
5. その他

このクロス集計では、部落問題を「気にしない」と答えた人の意識や態度と、同和対策事業の必要性についての考え方との関連を、部落問題を「結婚を考えると」に気にすると答えた人との比較してみた。

質問13	質問17 1. 取り組みは必要		2. 特措法が終わったので必要ない		3. 生活実態が良くなったので必要ない		4. わからない		5. その他		無回答		計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
1. 結婚を考えると	173	39.5%	46	10.5%	87	19.9%	116	26.5%	8	1.8%	8	1.8%	438
8. 気にしない	188	25.7%	71	9.7%	156	21.3%	261	35.7%	31	4.2%	25	3.4%	732
													1,170



<分析>

- 同和対策事業について「取り組みは必要」と答えたのは、部落問題を「気にしない」という人では25.7%であり、「結婚を考えるとき」に気にすると答えた人の39.5%に比べ約14ポイント低い。

また、同和対策事業の必要性について「わからない」と答えたのは、「気にしない」という人では35.7%で、「結婚を考えるとき」という人の26.5%と比べ約9ポイント高い。

そして、特別措置法は終了したから、被差別部落の環境等も改善されたから「必要ない」とする回答は、部落問題を「気にしない」及び「結婚を考えるとき」に気にすると答えている人とも、その割合に差はなく30%強である。

部落問題を「結婚を考えるとき」に気にすると答えた人のうち約40%の人は、同和対策事業の必要性について理解し、地域社会にある部落差別意識や差別の実態を認知していると考えられる。一方、部落問題を「気にしない」と答えた人は、同和対策事業の必要性について認識している人は約26%にとどまり、そして約36%は「わからない」、さらに同和対策事業は「必要ない」とする人は31.0%である。部落問題を「気にしない」とする人の意識・態度からは、部落差別の存在と実態についての基本的な認識の不十分さが見て取れる。

【考察】

- ◎ 被差別部落や部落出身者との関わりや交際について、過半数の人が部落問題は「気にしない」と答えている。一方、約3割の人は、部落問題を気にするのは「結婚を考えるとき」と答えている。就労や雇用、不動産取得、職場や学校あるいは近所づきあいなどの項目では「気にする」は僅かである。社会的距離において最も身近な結婚問題に社会意識としての部落差別が浮かび上がっている。

しかし、部落問題を「気にしない」とする人の意識・態度にも差異がある。意識・態度の背景をクロス集計結果からみると、部落差別の現実の認識の不十分さにより、「差別はない」、「差別していない」、「関わりたくない」という無関心、他人事とする意識や態度が見え隠れしている。

地域社会にある差別や偏見が自らの意識や態度、生活にどのように影響しているかを考え、真にお互いを大切にできる思いや願いを共有できる感性を育む学びを積み重ねていくことが求められる。